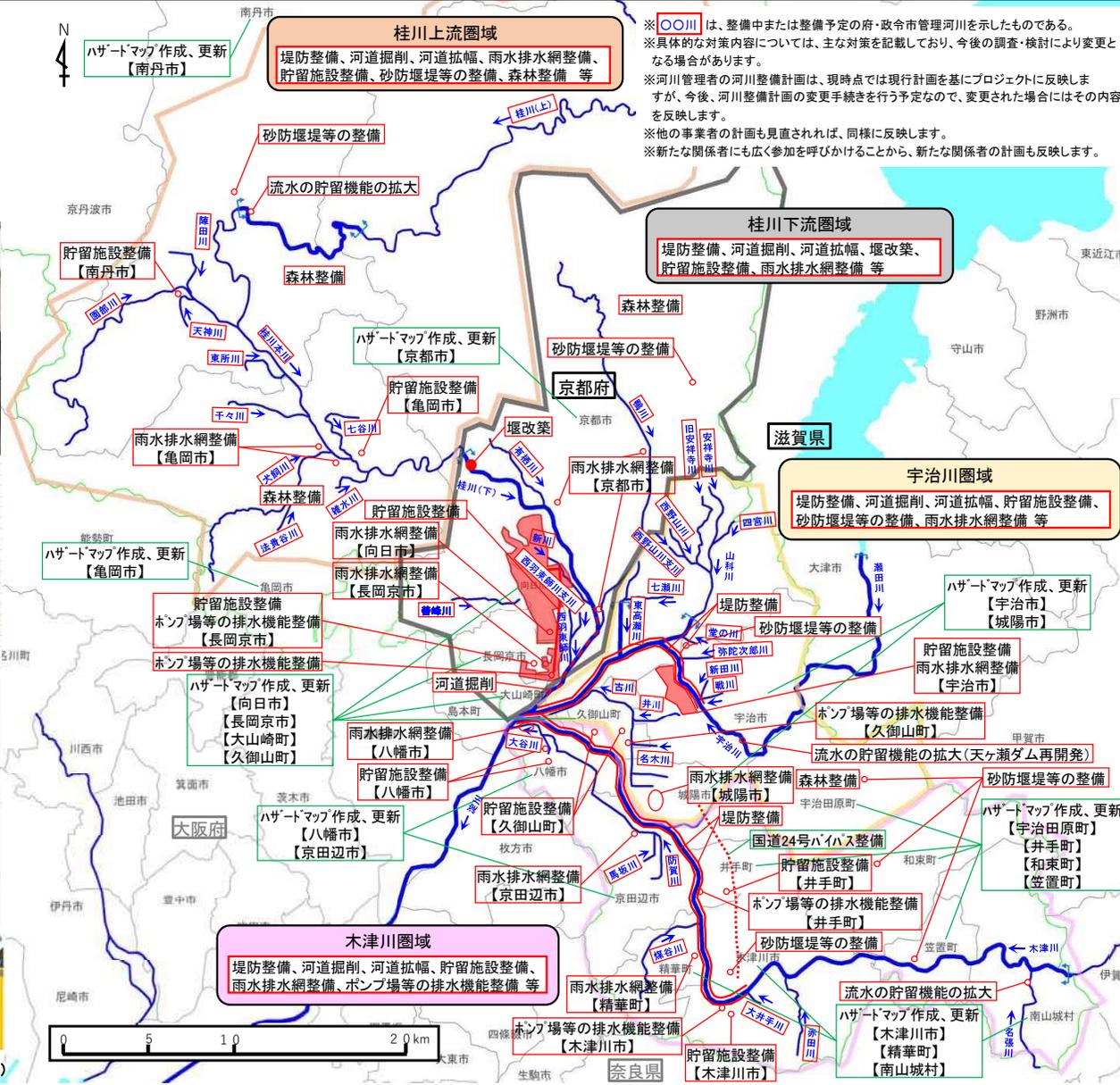


# 淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

～みず・ひとと生きる古都を支える流域対策の推進～

- 京都府域では、宇治川、木津川、桂川が1箇所で合流する三川合流点が存在。
- 三川合流点の上流では、合流点の高い水位によるバックウォーター現象から、各河川において、水位が高く洪水が流れにくい状態となるため、内水河川からの排水が困難となり、近年洪水でも内水被害が発生。
- このため、三川合流点への流量の低減や合流時間を分散させ、バックウォーター現象を抑制する対策等を実施する。

- 凡例
- 大臣管理区間
  - 堤防整備
  - 河道掘削
  - 堰改築
  - 県境
  - 市町村境
  - 貯留施設整備
  - 雨水排水網整備等
  - 道路整備



※〇〇川は、整備中または整備予定の府・政令市管理河川を示したものである。  
 ※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。  
 ※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。  
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。  
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
  - ・堤防整備、河道掘削、堰改築
  - ・砂防堰堤等の整備
  - ・雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
  - ・天ヶ瀬ダム再開発
  - ・流水の貯留機能の拡大
  - ・堆積土砂撤去
  - ・河川管理施設等の老朽化対策
  - ・河道内樹木の伐採
  - ・森林整備
  - ・ため池等の整備、貯留施設整備
  - ・開発行為に伴う調整池の設置
  - ・各家庭における雨水貯留施設整備への助成 等

- 被害対象を減少させるための対策**
  - ・立地適正化計画策定
  - ・条例等に基づき計画している安全なまちづくり

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
  - ・地区タイムラインの活用
  - ・広域避難計画の策定
  - ・要配慮者避難確保計画等の作成、支援
  - ・ハザードマップ作成、更新
  - ・まるごとまちごとハザードマップの整備
  - ・分かりやすい防災気象情報の提供
  - ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
  - ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
  - ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
  - ・災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備



# 淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ・効果】

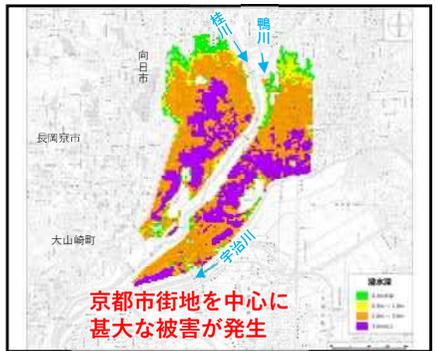
～みず・ひと<sup>よ</sup>繕る古都を支える流域対策の推進～

- 淀川水系淀川(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点の流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
- 【短中期】三川の中で最も流下能力が低い桂川において、河道掘削等を主に実施。
- 【長期】戦後最大規模の洪水流下時に浸水被害を解消するため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

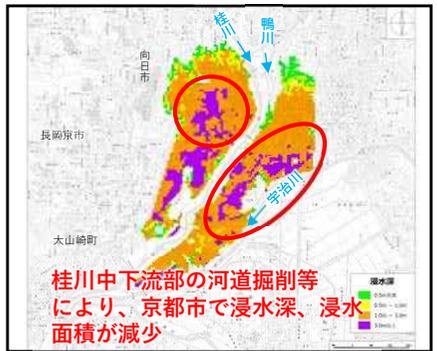
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削等	淀川河川事務所 京都府	→		
	流水の貯留機能の拡大	淀川統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 水資源機構	→ 天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所)		
	雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む) 等	京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、 大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、 井手町	→ 【貯留施設整備】遊水機能を有した公園整備 (亀岡市)    【雨水排水網整備】公共下水道事業 (京田辺市)    【雨水排水網整備】公共下水道施設整備事業 (宇治市) 【貯留施設整備】雨水調整池の整備 (久御山町)    【雨水排水網整備】下水道床上浸水対策事業 (京都市)    【貯留施設整備】雨水貯留施設設置 (城陽市)		
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取り組み（立地適正化計画策定）	長岡京市 等	→ 計画変更 (長岡京市)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ作成・更新 まるとまちごとハザードマップの整備、避難体制等の強化 等	気象庁、環境省 京都府 木津川市、京田辺市、精華町、宇治田原町、和束町、笠置町、南山城村 等	→ 避難所標識版の設置 (木津川市)    局地的豪雨探知システムの利活用促進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定 (環境省)		
	災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備	京都国道事務所	→ 要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市)		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

現在



中期



長期

浸水被害解消

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※直轄管理区間において、戦後最大洪水（昭和28年）と同規模の洪水が発生した場合の氾濫想定範囲